



Tottori Life

森原さんの暮らす 鳥取県境港市

さかいみなど

国内有数の漁港として知られる境港市は、東アジアのゲートウェイと称され、日本海側の物流・人流の拠点として日本経済の発展に貢献。「飛鳥II」などクルーズ船が数多く寄港し、海の玄関口として賑わいを増しています。移住を希望される方には、「お試し滞在支援事業」による宿泊費用の一部助成や、「空家利活用移住定住奨励金」の交付なども実施。心強い各種支援制度が整えられています。



自分らしく 鳥取らしく Turn!

2023.11 vol.108

森原さんが働く 社会福祉法人こうほうえんとは

1987年、境港市に特別養護老人ホームを開設して以来、鳥取県を拠点に複数の介護老人福祉施設、老人保健施設、保育所、リハビリテーション病院、その他在宅サービスを幅広く運営。「地域との共生」と「地域との連携」を事業の柱に、地域のニーズに対応するべく、医療、保育、障がいといった事業も融合させた複合施設を運営しています。



- 住所 / 鳥取県米子市両三柳1400
創業 / 1986年
業種 / 医療・福祉
求人職種 / 介護士・看護師・保育士
従業員数 / 2313名
平均年齢 / 45.5歳
休日・休暇 / 年120日
HP / http://www.kohoen.jp

エルダー制度等の導入で整えた働きやすい環境

先輩が新人の仕事の仕方や悩み等を広範囲にわたって支援するエルダー制度や、社内のウェブシステムを使用したe-ラーニング制度等を導入しており、未経験者でも働きやすい環境を整えています。ライフステージに合わせた職群選択、介護休暇・育児休暇等の取得にも柔軟に対応。また、「健康経営優良法人2023」に認定されています。



大阪府から Iターン

社会福祉法人こうほうえん

森原翼さん

子どもの頃から抱いていた 憧れの暮らしを 今この地でかなえています。

こんな人を求めています!

これからの地域と暮らしを支える熱い想いを持ち、共に成長できる人材を求めています。具体的にいえば、資格取得に積極的な方、チームワークを重視できる方、冷静に物事を判断できる方。モチベーションとなるキャリアパス制度を整えて、スキルアップを応援します。

人財課 課長 影山 智士さん

取材の様子を Web・SNS にて公開中 /



Web版「Turn」 Instagram YouTube TikTok

公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構

●就職のご相談は... 0120-307-238 (平日8:30~17:15)

※鳥取県事務局につながります

[東京] 月~水・金~日・祝...10:00~18:00 木...12:00~20:30

●移住のご相談は... 0120-841-558 (平日8:30~17:15)

※かける地域により、鳥取県事務局・東京駐在・大阪駐在のいずれかにつながります。

[大阪] 月~水... 8:30~19:45 木・金... 8:30~17:15 土・日・祝...12:00~19:45

鳥取県事務局 〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町11-1-5 鳥取駅前第一生命ビル1階 TEL.0857-24-4740 FAX.0857-24-4736

東京駐在 〒105-0004 東京都港区新橋1-11-7 とっとり・おかやま新橋館2階 TEL.0120-841-558

大阪駐在 〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階(鳥取県関西本部内) 学生専用TEL.0120-892-450



※お車で越しの際は、鳥取県後所駅前庁舎駐車場をご利用ください。

E-mail: tottori@furusato-tori.org URL: https://furusato.tori-info.co.jp/ (発行)公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構 (発行月)令和5年11月



祖父母の家を修繕しながら 余白ある境港で送る 丁寧な暮らしが愛おしい。



Tottori Life



PROFILE

森原 翼さん

Moriyama Tsubasa

出身地 / 大阪府高槻市
1ターンした年 / 2019年
趣味 / 読書・コーヒー
家族構成 / 1人暮らし



大阪で生まれ育ち、高校卒業後、読書好きが高じて書店で勤務。7年間勤めた後、2019年、母方の実家がある境港市に単身で移住。米子市で開催された就職フェアで社会福祉法人こうほうえんを知り、企業姿勢に感銘を受け入職した。介護士として働きながら、築50年になる祖父母の家を修繕しながら守り、豊かで丁寧な暮らしを送っている。

思いがけず介護士という仕事にめぐり合えて本当に良かった！

1 移住のきっかけ Turning Point



子どもの頃から母の実家である境港に家族で帰省していて、高校生の頃から「いつか祖父母と、この町と一緒に暮らしたい」と思うようになりました。しかし、自分の決心がつくまでに祖父母は他界。移住を応援してくれていた伯父も亡くなって、「このまま悠長に構えてはいけな」と覚悟が決まりました。そして「もう大阪ではやりきった」と思えたタイミングで移住。このときはまだ就職先は決まっていなかった。

2 私の仕事 Main Job

介護老人保険施設に入職して4年、国家資格介護福祉士も取得し、充実した日々を過ごしています。業務内容は、入所者さんに対して日常的な食事、入浴、排泄などの介助を行いながら、医師、看護師、リハビリスタッフ等の専門職の皆さんと連携。お一人おひとりに対して在宅復帰へ向けての課題解決に取り組んでいます。介護士は「入所者さんにどれだけ笑顔で過ごしていただけるか」を常に考える「究極のサービス業」だと捉えています。



入所者さんが方言を教えてくれる私の先生です。

仕事のやりがい

介護士の仕事を通して、長生きしている方々の言葉を直に聞くことができる素敵な時間をいただいているなと思っています。そして、大阪から来た私にとって入所者さんは、境港の方言を教えてくださいだる先生なんです。それは持ちつ持たれつの関係。介護と移住は親和性があると感じています。介護の現場は、介護リフト等の導入もあり、以前ほどの重労働は軽減されています。やりがいも誇りも日々感じられる職場です。

3 鳥取時間 Tottori Time

境港の程良い「余白」がいい

夜勤明け、近くの温泉に入ってから帰宅。睡眠をとって起きたら、本を読んだり、買い物に行ったり。何気ないそんな日常がとても充実しています。切羽詰まっていた大阪時代には感じられなかった、心地良い「余白」が、境港にはあるのです。



心が豊かになる丁寧な暮らし方

休日には、やることがいっぱい。庭の手入れ、お墓参り、障子の張り替えなど。祖父の本棚を整理していたら古い時計が出てきたので直して使っています。移住を決断してから車の免許を取得。アウトドアでコーヒーを淹れて、自然の中で好きな本を読む。以前では考えられなかった、これを「丁寧な暮らし」っていうのでしょうか。



静かな時間が流れる境港が好きです。

港町のロケーションに日々感動

海に面した港町特有の美しさなのでしょうが、日が暮れていくときの空のグラデーションは見るたびに感動してしまいます。境港のロケーションは、お金では買うことのできない特別なものです。

4 私の家計簿 Household Account Book

【大阪】

家賃	28%
光熱費	6%
食費	26%
通信費等	8%
娯楽費	5%
交際費	5%
雑費	15%
貯金	7%

【鳥取】

固定資産税	3%
光熱費	8%
食費	20%
通信費	8%
娯楽費	11%
自動車	15%
雑費	15%
貯金	20%

私の場合、祖父母の家を守りながら暮らしているため家賃の心配はありませんが、公共交通機関が整っている都会とは違い鳥取では車が必須。ガソリン代や維持費等の出費は仕方ありませんが、貯金も楽しみも増えました。心の豊かさで便利さとのバランスは大事だと感じています。



5 今後の目標 New Step

当法人内には、介護老人保険施設だけでなく施設系や通所系など様々な事業所があるため、それぞれの目的に合ったサービスやケアを提供できるよう自己研鑽に励み、当法人にとって「必要な人財」といっていただけるようになりたいと思います。また、仕事からは離れますが、自身の移住経験の中で感じた歯痒さや、きっかけを見出すことに苦慮した経験を活かして、鳥取県への移住検討者向けに発信等の活動を行い、地域を盛り上げたいと考えています。



1ターンのすすめ

私が移住を決断したとき、大した貯金も資格も、秀でた学歴も職歴もない、からっぽで何者でもない状態でした。それでも「ここで〇〇がしたい!」という思いがひとつあれば、なんとかなるものです。「自分を変えたい!」と感じたときに移住活動の絶好のタイミングかもしれません。



やはり直感が大事ですね!

鳥取らしい 私の一日 夜勤編

庭で育てた野菜の収穫やお気に入りの場所で読書をして過ごしています。心が豊かになる時間を大切にしています。

